



AVL JAPAN
CORPORATE PROFILE

AVL Global Network

AVLの歴史

1948

ハンス・リスト博士率いるディーゼルエンジンの専門家チームが「IBL (Ingenieurbüro List; リストエンジニアリング)」を設立

1969

AVL本社に最初の全自動デジタルテストベッドを導入

1960

エンジン計測システム事業開始、現在のITS (Instrumentation & Test Systems) 事業部発足

1952

マーシャルプランの資金援助によりクライスシュトラッセに中央研究施設を設立

1951

「IBL」から「AVL (Anstalt für Verbrennungskraftmaschinen List; リストの内燃機関研究所)」に社名変更

1993

世界初レース用エンジンの動的シミュレーションエンジンテストベッドを供給

1987

AST (Advanced Simulation Technologies) 事業部が発足

1985

ハイダイナミック・テストベッドによる仮想車両でのエンジン動作を実現

1979

ヘルムット・リストがCEOに就任

2015

中国に2番目のテクニカルセンター「AVL天津テクニカルセンター」を開設

2014

サーマルマネジメント、流体力学、音響学を専門とする「qpunkt」の株式の過半数を取得

2010

中国の「AVL上海テクニカルセンター」にバッテリー研究所を開設

2008

ドイツのレーゲンスブルクに「AVL Software and Functions GmbH」を設立

2003

ドイツのエンジン開発者シュリック博士の事業を継承

2002

スウェーデンのエンジンテストセンター「MTC AB」を買収、本社近隣にAVL試験テストコースを開設

2019

新技術を船舶向けに応用開始、ハンブルクに最初の船舶事業オフィスを開設

2018

新たなADASコンピテンスセンター開設、グラーツ本社の新バッテリーテストラボの試験能力を2倍に増強

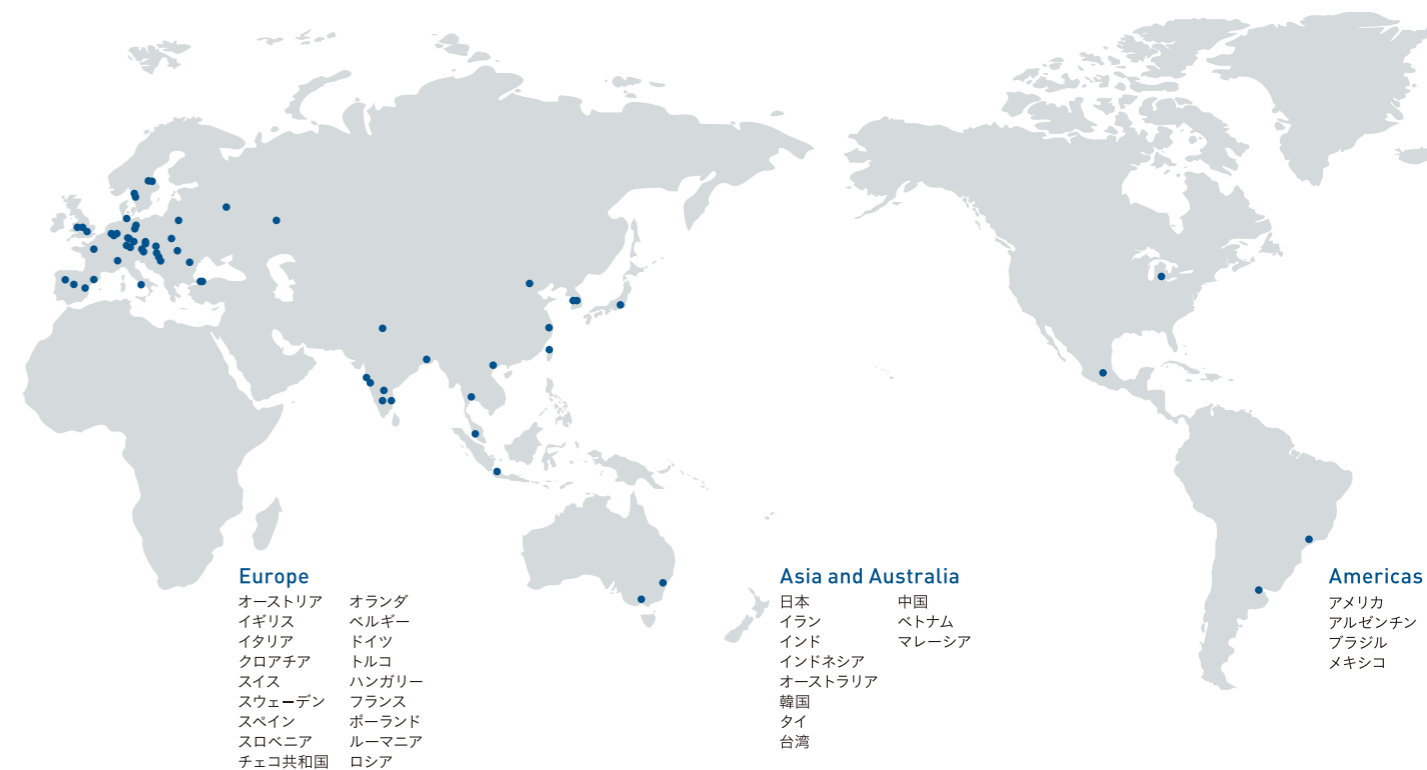
2017

AVLとTU Grazが、新しいトランスミッションシステムの研究開発に向けた世界最先端のコンピテンスセンターを共同開設

2016

水素燃料電池、電解槽、バッテリー、エネルギー貯蔵システムの試験・製造装置世界的リーダー「Greenlight Innovation Corp.」とのパートナーシップを発表

AVLグループは、世界40カ所にテクニカルセンター/エンジニアリングセンターを配置し、30以上の国々に、専門のカスタマーサポートチームを展開しています。



1950年代

1970年代

2000年代

現在

1969

日本のトラックメーカー向けエンジン設計・開発により、日本での事業開始

1980

エンジンテスト計測器の納入開始により事業を拡大

1995

日本人「エイヴィエルジャパン株式会社」設立

2013

宇都宮AC* 開設

2014

豊田 AC (現:名古屋 AC) 開設

2015

川崎 AC 開設

2016

自動車、産業機械、船舶のパワートレイン技術開発を担う「ジャパンテクニカルセンター」を開設



2019

日本でのサービス開始 50周年

2020

「エイヴィエルジャパン株式会社」創立25周年
日本にAD/ADAS専任チーム発足

AVL LIST GmbH

本社所在地: Hans-List-Platz 1, A-8020 Graz, Austria
Phone / Fax: +43 316 787-0 / +43 316 787-400

設立: 1948年

会長兼CEO: Prof. Dr. h.c. Helmut List (最高経営責任者)

従業員数: 約11,500名(オーストリア グラーツ本社 約4,300名)*2020年1月

URL: <http://www.avl.com>





エイヴィエルジャパン株式会社

〒211-0004 神奈川県川崎市中原区新丸子東3-1200 KDX武蔵小杉ビル2階

Phone: 044-455-9200 Fax: 044-455-9205

URL: <http://www.avi.com>

